

- 奈良県外国人観光客受入環境整備促進及び周遊滞在促進補助金（観光補助金）
- もっと良くなる奈良県市町村応援補助金

【概要】

- 本年10月の消費税率引上げに伴う地域消費の落ち込みを抑制するため、
 - ① 奈良の観光資源を活かしたインバウンド消費の増加や
 - ② きめ細かい地域消費の喚起に繋がる市町村等の取組みを支援
→ 県外の消費減少を極力招くことなく、県下全域の需要平準化に取り組む

【採択のポイント】

- （「もっと良くなる奈良県市町村応援補助金」。審査の視点の趣旨は観光補助金についても妥当。）
- 事前相談（任意）や採択事業の審査にあたっては、補助金の趣旨や「審査の視点」の観点から、事業内容を確認し、採択の際は県意見も伝達。
「審査の視点」（詳細は次頁）
 - ①具体的な消費機会の拡大 ②効果の持続的残存性 ③その他、創意工夫
 - 県庁内で、事業関係課と市町村振興課が連携を取り、市町村事業のブラッシュアップを支援。

「もっと良くなる奈良県市町村応援補助金」採択にあたっての審査の視点

次の1～3に掲げる効果等が発揮できると認められるもの

《1》具体的な消費機会の拡大

- ・ 供給者の販売力が向上し、地域経済循環の継続的な拡大に繋がる取組となっていること
- ・ 地元にお金を落とす具体的な消費機会を創出している取組であること
- ・ 具体的なターゲット層を意識していること

《2》ストック効果（効果の持続的残存性）

- ・ 将来に向けて効果が持続的に残存する「ストック効果」を有すること
- ・ 既存ストックの持つ潜在的な価値を積極的に利活用する視点があること

《3》その他、創意工夫点等

- ・ 専門家の活用など、需要動向の把握の精緻化を行っていること
- ・ 県外からの技術移転や県内での技術開発の促進などを通じて、企業が生み出す付加価値の高度化を図る視点があること
- ・ ベンチャーや大学等との連携など、幅広いステークホルダーが参加する取組となっていること
- ・ マスコミやSNSを通じて話題性を提供できる取組であること
- ・ SDGsの文脈に即した内容としていること